

知って!使って! 子どもの権利

どうしたら子どもの権利が広がるか
みんなで徹底調査します!

シンポジスト

コーディネーター 明橋大二代表



石川県の子どもたち
子ども実行委員調査団が、
大人たちの会議を調査
します!



桜井智恵子さん

学校法人自由学園 最高学部 特任教授
教育社会学、思想史を研究。丹波市子どもの権利
擁護委員長。これまでに、川西市等で子どもの人権
オンブズパーソンも務めてきました。



鈴木瞬さん

金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授
専門は教育経営学。学童保育を中心とした子どもの放
課後支援を研究。日本学童保育学会理事。
ケアの視点から、学童保育における子どもと大人の相互
作用について探究しています。

基調講演

「子どもにやさしいまちづくり」
～子どもの権利条約を羅針盤に～

講師：明橋大二代表



イラスト / 六花

2026

10月31日 土
9:30 ~ 16:00

(受付開始 9:00)



申込みQRコード
より、事前申込み
をお願いします。

会場

津幡町福祉センター (津幡町字加賀爪二3番地)

会場駐車場には限りがあります。
ご来場の際は、乗り合わせまたは公共交通機関をご利用ください。

参加費

大人 1000 円 (資料代として) / 大学生以下無料

託児有

詳細は事前申込フォームをご覧ください。

託児申込期限：9月30日(水) 子ども1人500円/日

主催：親と子のリレーションシップほくりく 共催：津幡町要保護児童対策地域協議会

後援：こども家庭庁 / 石川県 / 富山県 / 福井県 / 津幡町 / (社福) 石川県社会福祉協議会 / 石川県 PTA 連合会 / (公財) いしかわ結婚・子育て支援財団 / 石川県医師会
石川県小児科医会 / 金沢弁護士会 / 金沢市教育委員会 / 七尾市教育委員会 / 小松市教育委員会 / 輪島市教育委員会 / 珠洲市教育委員会 / 加賀市教育委員会
羽咋市教育委員会 / かほく市教育委員会 / 白山市教育委員会 / 能美市教育委員会 / 野々市市教育委員会 / 川北町教育委員会 / 津幡町教育委員会 / 内灘町教育委員会
志賀町教育委員会 / 宝達志水町教育委員会 / 中能登町教育委員会 / 穴水町教育委員会 / 能登町教育委員会

(公財) いしかわ結婚・子育て支援財団の助成により実施しています。



【ホームページ】
親と子の
リレーションシップ
ほくりく



【お問い合わせ】
ishikawa.rيرهoku
@gmail.com

子どもの権利 - 知ってますか？使ってますか？

令和7年12月「いしかわ子どもの権利基本条例」が制定されました。この機会に子どもも大人ももう一度子どもの権利について学び、誰もが幸せを実感できる社会を目指して語り合いましょう！

石川県 今回は分科会を「調査現場」に見立て、大人たちの語りと考える様子を、
初の試み 「子ども実行委員」が調査しに行きます！その後シンポジウムでさらにみんなで深ぼります！



① タイムスケジュール

- 9:30 ● 開会式 開会の挨拶
- 10:00 ● 基調講演
「子どもにやさしいまちづくり」
～子どもの権利条約を羅針盤に～
講師：明橋大二代表
- 10:45 ● 会場移動 各調査現場へ移動します。
- 11:00 ● 子どもの権利を考える時間
大人は興味のある調査現場（分科会）に参加してください！
子ども実行委員調査団が各現場に調査に行きます！
- 12:30 ● お昼休憩 昼食は近隣のお店をご利用ください。飲食スペースはあります。
- 13:30 ● シンポジウム
どうしたら子どもの権利が広がるのか、調査した結果を子ども実行委員が報告します。
子ども実行委員、桜井さん、鈴木さんと、「知って！使って！子どもの権利」を感じよう！
【シンポジスト】 子ども実行委員のみなさん
【コーディネーター】 明橋大二代表
桜井智恵子さん
鈴木瞬さん
- 14:30 ● フロアのみなさん！ 一緒に考えよう、深めよう！
- 15:40 ● 閉会式
- 16:00 ● 終了

みんなのカフェ 11:00～12:30

内容 調査現場には参加しない方、ちょっと休みたい方の休憩所。飲み物、お菓子あります！ちょっとしたゲームや点つなぎ等の本もあります。みんなの声で大きな木を彩りましょう。
対象 どなたでも



調査現場 ① 自分らしさはワガママですか？ ～これが私の生きる場所～

グループ
トーク

内容 家庭や地域、部活や習い事、それぞれの居場所など日常生活の中で日ごろ疑問に思っていること、普段話にくいこと、自由にお話しませんか？子どもも大人もみんなが自由に語り合うことができる時間です。

対象 子ども、親、保護者、先生、地域の人々など子どもと関わる大人たち



調査現場 ② 学校生活とこどもの権利 ～いろいろあるよね～

フリー
トーク

内容 「あれダメこれダメって言われる」なんで？「信じてくれない」なんで？「聞いてくれない」なんで？こどもの「なんで？」にあなたならどう応えますか？学校生活の中でおきているあれこれをもとに具体的な関わりを、一緒に語りあい、考えてみませんか。

対象 先生、親、こどもたち、みんな一緒に！

<アドバイザー>

多田元さん（おーぶんはうす代表 / 弁護士）



調査現場 ③ 子どもの声を“つなぐ” 作戦会議始めるよ！

座談会

内容 子どもの権利条例を見たとき、わかったつもりでいるけど、実際にやれていないことが多いと思いませんか？ここでは特に「参加する権利」に着目して、それぞれの現場に関わるみなさんが「子どもの声」をどのように捉え、応答しようとしているのか、皆さんとお話したいです。

対象 子どもの権利に関心のある方、被災地支援に興味を持っている方、子ども食堂やフリースクールに通っている方。先生に来てほしい。



調査現場 ④ 一緒に考えよう！災害時の子どもの支援 ～置き去りになっちゃう子どもの思い～

内容 輪島中、高松中、内灘町の震災を体験した子どもたちが登壇。災害時子どもの思いはどいった？子どもの思いを置き去りにしない支援を語り合おう。

対象 どなたでも

ワーク
ショップ



親と子のリレーションシップほくりくは、北陸三県の子ども・親支援に関わる団体の、ゆるやかなネットワークとして発足した集まりです。毎年一回、三県持ち回りで大会を行い、今年は石川県津幡町で行われます。

令和7年12月、いしかわ子どもの権利基本条例が施行されました。私達が共通の土台としている子どもの権利条約が、県という単位で条例となったことは大きな意義があり、率直に喜びたいと思います。しかし今後は、それをいかに子どもの現場に落とし込み、子どものウェルビーイングに活かしていくかが問われています。

能登半島地震から2年半たっても、心の復興はこれからです。全国でも子どもの自殺は毎年過去最多を更新し、子ども支援の取組みは、まさに待ったなしの状況です。

この集まりが、地域の子どもの親の幸せに少しでもつながることを願ってやみません。多くの方々の来場をお待ちしています。

親と子のリレーションシップほくりく代表／真生会富山病院心療内科部長 明橋大二